

横浜市障害者スポーツ指導者協議会 機関誌

BASEL



- 発行責任者: 横浜市障害者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者: 広報担当理事
- 連絡先: 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ事業課内
Fax 045(475)2053
<http://www3.ocn.ne.jp/~basel/>



全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、平成12年まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合して平成13年に第1回大会が宮城県で開催されました。

毎年、国民体育大会終了後に開催されており、今年長崎県で開催される大会が第14回大会となります。正式競技13競技とふうせんバレーボール(身・知・精)・視覚障害者ボウリング(身)の2競技が、オープン競技として行われます。

横浜市選手も個人競技に43名、知的バスケット男子(連続5回目の出場)・精神バレーボール(連続3回目の出場)の団体競技も参加します。強化練習も始まりました。

応援宜しくお願い致します。

平成25年度障害者スポーツ協会及び指導者協議会の合同会議参加報告

1. 日時 : 平成26年2月19日(水) 12:00~15:30
2. 会場 : ホテル日航・東京(東京都港区台場1-9-1)
3. 出席者: 木村 稚夫 副会長

昨年の合同会議に於いて、最終案を取りまとめ中と有りました「日本の障がい者スポーツの将来像について」その将来像とアクションプランが、完成したとの報告がありました。

日本障害者スポーツ協会のホームページ <http://www.jsad.or.jp/> の協会情報—障害者スポーツの将来像で皆さんにもご覧いただけます。

1. 将来像のアクションプランについて
2. ①平成25年度事業報告
②平成26年度事業計画(案)
③生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014報告
3. 東京2020オリンピック・パラリンピックについて
4. 各専門員会活動報告
① 医学委員会活動報告・今後の課題
② 科学委員会活動報告・今後の課題
③ 技術委員会活動報告・今後の課題
5. 全国障害者スポーツ大会について
① 第13回障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京2013)報告
② 第14回障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会)準備状況
③ 全国障害者スポーツ大会競技規則の改正について
6. 障がい者スポーツの今後の地域振興に向けて
(1)方向性と課題
①平成25年度障害者スポーツ協会・指導者協議会各県資料集計
②都道府県指定都市における全国障害者スポーツ大会の予選会実施状況に関する調査
③障がい者スポーツの今後の地域振興に向けて
(2)各地のスポーツ振興とブロックでの取り組みについて
7. その他
8. 質疑応答

第19回ハマピック個人種目を終えて

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
スポーツ事業課(振興担当) 熊谷俊介

第19回ハマピック個人競技の全日程が終了いたしました。

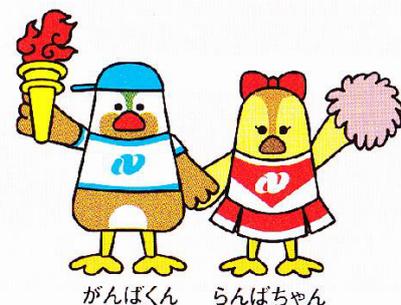
この大会は、同年秋に開催される「第14回全国障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会2014)」の横浜市代表選手の選考も兼ねており、ボウリング、アーチェリー、水泳、卓球(サウンドテーブルテニス含む)、フライングディスク、陸上競技の6競技を開催いたしました。

開催にあたり、横浜市障害者スポーツ指導者協議会(以下バセルという)の会員の皆様をはじめ、各競技協会、市内障害福祉関係団体、(公社)神奈川県理学療法士協会、横浜市手話通訳奉仕団たつの会、近隣の中学校・高等学校など非常に多くの方にご協力いただき、無事に開催できたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

横浜ラポールは市内唯一の障害がある方のスポーツ振興の中核拠点施設として、ハマピックにより多くの方に参加していただくことを目標に事業展開しております。また、各種教室や大会・イベントをとおしてハマピックの参加に繋がるよう、内容や開催時期などを検討しています。そのように事業を展開していく上で、横浜地域をフィールドに活動していただける人材が非常に重要です。バセルの会員の皆様には、日頃よりスポーツ指導、大会・イベント運営など様々な場面でご支援を賜っておりますが、今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【第14回全国障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会2014)までの主な日程】

- ・横浜市代表選手説明会 6月7日(土)
- ・強化練習 6月～10月
- ・横浜市選手団結団式 10月18日(土)
- ・第14回全国障害者スポーツ大会(長崎がんばらんば大会2014)
11月1日(土)～3日(月・祝)



大会マスコットの「がんばくん・らんばちゃん」

会員の活動・体験報告

《1月19日(日)スポーツフェスタ ボウリングの日 於:横浜ラポール》

広報

人気のボウリング競技です。フェスタは、いつも大賑わいです。

26年度は、スポーツフェスタボウリングの日が、3回行われます。ご協力よろしくお願い致します。

《2月9日(日)スポーツフェスタ ボッチャの日 於:横浜ラポール》

会員 持丸 里香



急遽審判講習会も開催されました

2月9日の「ボッチャの日」の前日は、記録的な大雪でした。そのため当日は、交通機関は乱れ、道路の積雪で車はスリップの危険、歩くには足元が最悪の状態でした。

ラポールの職員の方々が、声が嘎れるくらい、前日、選手の方々とBASELのメンバーにお電話で連絡をされていました。

当日は、朝早く一生懸命ラポール周辺を雪かきして頂いたのが、歩きやすかったです。ありがとうございました。

このような状況ですが、BASELのメンバーの

ほとんどの方々が、参加致しました。選手の参加者は、個人3チーム、団体ペア4チームでした。

2コートしか使用しませんでしたので、試合を担当しない方々でグループごとに、ベテランの方からボッチャの審判講習を受けました。

試合は、人数に負けないくらいの熱戦でした。大雪のため、いつもと違う「ボッチャの日」でした。

《3月16日(日)スポーツフェスタ サッカーの日 於:谷本公園球技場》

会員 鍛治原 竜体



ゴールを目指してシュート！！

3月16日に谷本公園で「スポーツフェスタサッカーの日」が開催されました。私は、審判を担当させて頂きました。とても暖かく快晴で良いピッチコンディションでした。形式は、5対5(GK無し)10分ハーフのランニングタイムで1次リーグが行われ、1次リーグの順位結果、2次リーグの組み合わせが決まります。2次リーグは、15分間1本のランニングタイム。選手たちは、試合に勝つた

め一人一人声を出し、走り回り、ゴールを目指していま

した。ベンチからも指示や声援が飛び交います。見事なドリブル突破や、思い切りの良いシュート、気持ちが入ったブロックなど、人を惹き付け、熱を与えてくれるプレーがたくさん有りました。私も、審判をしながら一杯一杯のところ有りましたが、試合終了後、握手を求めて頂いたり、本部へ挨拶をしていくチームを見て、気が締められました。末文になりましたが、今回のイベントに携わった方々に感謝申し上げます。

「どのような選手にも金メダルを！」と企画された大会。選手自身がタイム・記録を想定してエントリーしたこの大会は、毎年たくさんの方々が楽しみに、或いは自分の目標を目指してがんばっていらしたと思います。多数の方々がエントリーした中で「やっと5メートル泳げるようになったんです！」と目を潤ませて感動なさっていらしたお母さまの姿がとても印象的でした。

それぞれのプールで練習し、精一杯の力を発揮出来た方々は笑顔がいっぱい、一生懸命泳いでいる選手には惜しめない拍手・声援が送られ終日プールは活気で溢れていました。

多くのボランティアさん、川崎の橘高校水泳部のみなさんの協力と澆刺とした案内で競技がスムーズに進行していました。

次回も多くの方々の笑顔に会いにボランティア活動に参加したいと思っています。

《4月13日(日)ハマピック アーチェリー競技 於:横浜ラポール》

会員 加藤 孝雄



アーチェリー競技開会式の様子

平成26年4月13日に、全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会を兼ねた第19回ハマピック「アーチェリー競技」が開催されました。障害者スポーツのボランティアとして活動して9カ月、アーチェリー競技は初めてで、弓で矢を射的に当てる競技というだけの知識しかありませんでした。役員ミーティングでは、選考会も兼ねた大会での得点係ということを知りて選手以上に緊張しました。

大会参加者は男性5名・女性2名で合計7名でした。2分以内に屋を3本射り得点を集計する。これを1エンドとして12エンドずつ午前と午後で2回おこなわれ、72本の

矢を射った合計点数により障害区分ごとに順位を決定すると言うものでした。また、同じ障害区分に競う相手がない方は、同一障害区分の全国大会記録を更新すべく自分との戦いとなりました。

大会は、1エンドごと静寂と緊張感に包まれたなか行われ、選手の方々の的に集中するご様子がとても印象的なスポーツでした。約半数の方々が大会記録を更新されメダルの授与も行われるなど有意義な大会でした。

また、横浜市アーチェリー協会の方が、アーチェリーは心の迷いが結果に現れるスポーツであると言われていたことが印象に残りました。



ボウリング競技会場の様子

《4月13日(日)ハマピック ボウリング競技

於:港北とうきゅうボウル》 会員 西村 うづき

去年まで横浜ラポールでフライングディスクのボランティアをしていましたが、今年2月、ついに初級障害者スポーツ指導員の資格を取得し、BASELの一員として今春より本格的に障害者スポーツのボランティア活動が出来ることになりました。

そのボランティア活動第1弾として、4月13日(日)都筑

区の港北とうきゅうボウルで開催された、第19回ハマピックボウリング大会(第14回全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会)で活動してきました。

今までのボランティア活動は、横浜ラポール内のみだったので、普段と違う雰囲気戸惑うことばかりでしたが、経験豊富な会員の人たちに支えられ、最後まで楽しみながら活動する事ができました。

大会が終わって一つ気づいたのが、ボウリングをしている選手を見ていて沸き上がった「私もやりたいなあ」という気持ちです。

これってボランティア活動する上でとても大切な気持ちのような気がしました。ボランティア活動している自分の方が実は楽しませてもらっているのかもしれない。

「初心忘るべからず」の気持ちを大切にこれからも活動していこう。と思いながら帰途に着いた一日でした。

《4月20日(日)ハマピック 水泳競技 於:横浜ラポール》

会員 村上 洋子

延べ参加人数 265 名の幅広い世代が集い、21 名の選手が大会新記録を樹立しました。自己ベスト更新のみならず、全国障害者スポーツ大会への選考会が兼ねられ、長崎に向けた選手の熱い思いが伝わる大会でした。

プールでの監視をしながら皆さんが熱心に練習されている姿を拝見するだけでしたが、大会運営をお手伝いしたことによって、また新たな一面を垣間見ることができました。帰り際の廊下で試合を終えた選手の方が、感謝の言葉と新たな練習への意欲を爽やかな笑顔で語られました。人との関わりを強くする水泳競技の素晴らしさを感じ、私も胸が熱くなりました。また、高校生達の礼儀正しさと主体的に動く姿がとても印象に残りました。スムーズな競技進行は彼らのお陰です。選手の皆様や若者たちの今後のご活躍を心から応援したいと思います。

スポーツボランティアから幅広い世代の方々との触れ合いを通して、心の豊かさを感じ、私はたくさんの感動を味わってきました。自分自身が様々なボランティア体験を通して感動したことを多くの人に伝え、障害者スポーツが、社会でより一層身近なものとなるよう努力していきます。BASELの皆様、どうぞよろしくお願い致します。

《4月27日(日)ハマピック 卓球競技・STT 於:横浜ラポール》

理事 大川 裕

第19回ハマピック卓球大会が4月26日に開催されました。今年是一般卓球とサウンドテーブルテニス(STT)が同時開催となり、会場もメインアリーナで一般卓球が、サブアリーナ(1コート)と2階大会議室B(2コート)でSTTが開催され、3会場同時スタートとなりました。

私は2コートの招集係でしたが、本来1コートの控室にいるはずの選手が、ロビーで休憩していたり、先生と行動を共にして仲間の応援をしたり、声をだして点呼もできず大変苦労しました。STTの試合は白熱し、予定の終了時間を大幅に超えてしまいました。

主審、副審も各コートに1名ずつで交代もなく、ほんとうにお疲れ様でした。

一般卓球は見えていませんでしたが、無事終了したようです。



卓球競技会場の様子



フライングディスク競技風景

昨年、神奈川県障害者連合会にボランティア登録し、今回初めてこちらの活動に参加させて頂きました。

受付の場所から競技会場への介助誘導と競技中の選手誘導の担当でした。

競技には、お子さんから大人の方まで参加されていました。楽しそうにお互いを応援し合う子供たちや、メダルに届かず悔しがらるお子さんの姿、ずっとおしゃべりに夢中だったのに本番になるとぐっと真剣

になる選手の姿、記録を報告し励まし合う選手達を拝見することが出来ました。それぞれの方が思い思いに競技を楽しみ取り組んでいらっしやることが伝わってきました。また、少人数だった為かスタッフ、審判、ボランティアの方々と選手の方々の暖かい繋がりも感じられたように思います。

おひるやすみには、他のボランティアの方々と談笑したり、最後の撤収作業まで楽しい時間を一緒に過ごさせて頂きました。自分なりに次の課題も見つかり、またお手伝いさせて頂くのが楽しみです。

連休最後の日に行われた陸上競技は、予報されたほど気温も上がらず、短距離の選手は、走って来たにも拘らず「寒〜い！！」とっていました。そのような天候でしたが、延べ450人以上の選手が参加し、記録への挑戦をした一日でした。

大変良い天気にも恵まれて楽しいスポーツ大会となりました。私もボランティアとして競技に参加して楽しく過ごせました。参加者は500人を超えて、盛大なイベントとなりました。

毎年参加されている会員さんから「年に一度しか合わないのに参加者が、覚えていてくれて、手を取ってくれるのよ」と嬉しいお話を伺いました。



参加者とBASELスタッフ

今回は、募集の段階で「STTルールに精通し、試合に慣れた方」と条件がありましたので、応募人員が1名でした。浜視協スポーツ部長の笠羽さんからも『お疲れさまでした』と、労いの報告を頂きました。

研修コーナー

<第37回種目別研修会>

開催日：平成26年5月24日（日）

会場：障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

テーマ：Strength&Conditioning とストレッチングについて

講師：横浜市障害者スポーツ文化センター横浜ラポール スポーツ指導員 渡辺 清氏

参加者：24名

今回のテーマは、障害者スポーツの種目でなく、すべてのスポーツに共通するストレッチングです。

講師によると、最近では、力を示すストレングス、体調の調整を意味するコンディショニングにストレッチングを加えて総合的にとらえる方向に変わってきているそうです。



講義中のストレッチング実習

研修の最初は、教室で基本的な技術の講義があり、その後、メインアリーナに場所を移して、実技に入りました。講師のキャラクターを反映して、優しく、分かりやすい説明が行われ、全員が講師の指示に従って、体を動かしました。

講師の指示に従って体を動かすときに、受講者の代表が前に出て、見本を見せ、軽々と実技を示す人や、四十肩・五十肩なので自由に動かない部分を一生懸命動かす人、皆さん真剣に体を動かしていました。

体験したあとに、S&Cストレッチングにより「腰が軽くなった」人や、「腰からももの後ろが気持ちよくなった」人などの感想があり、さっそく効果が上がっているように感じました。

参加者は皆熱心で、今回は健常者向けのプログラムでしたが、障害者向けのS&C ストレッチングも計画してほしいとの要望も出ました。

最後に教室に戻ってアンケートに答えていただき、アンケート結果では、全般的に非常に好評で、続編の開催の要望も含まれていました。

今までの種目別の研修に加えて、今回のような基礎的な研修を交えることが今後の研修計画として検討すべきであると感じました。



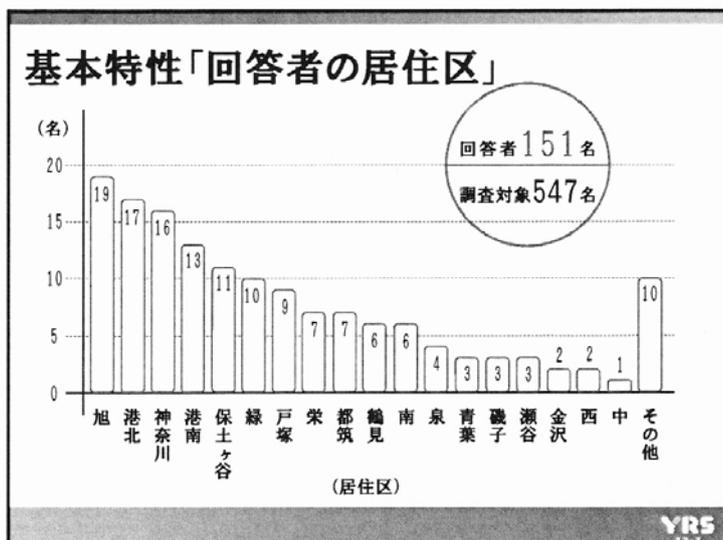
メ

メインアリーナでの実技風景

今回、講師が参考資料と致しました文献は、マイケル・オルター著「イラストでわかるストレッチングマニュアル」です。フィットネスルームに有りますので、手続きをしてご覧ください。

お知らせコーナー

《障害者スポーツ支援活動の実態調査に関するアンケート結果報告》（BASEL30号に同封）
アンケート結果が、まとめられました。協議会のホームページには、より詳しく掲載してあります。



* アンケート形式

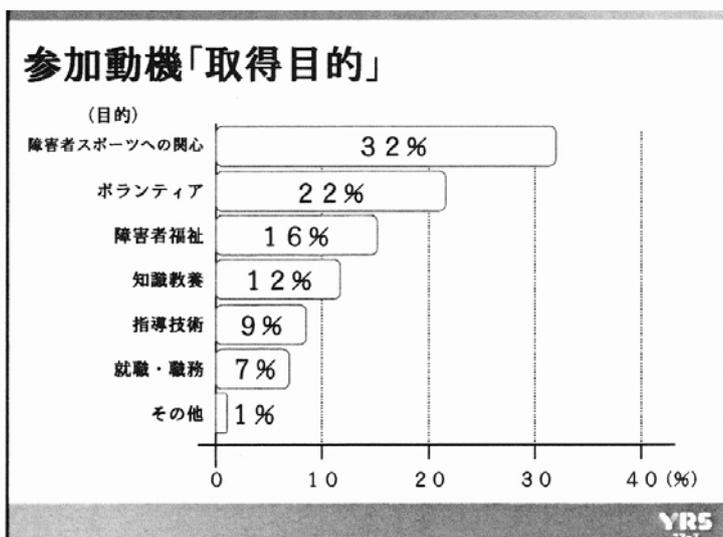
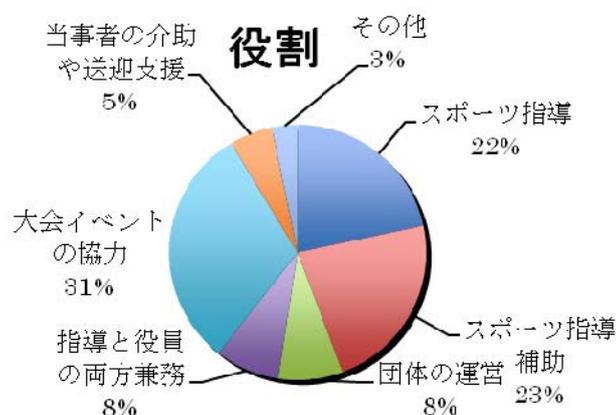
「選択式」と「記述式」混合の無記名方式

* 内容 4カテゴリ・31項目

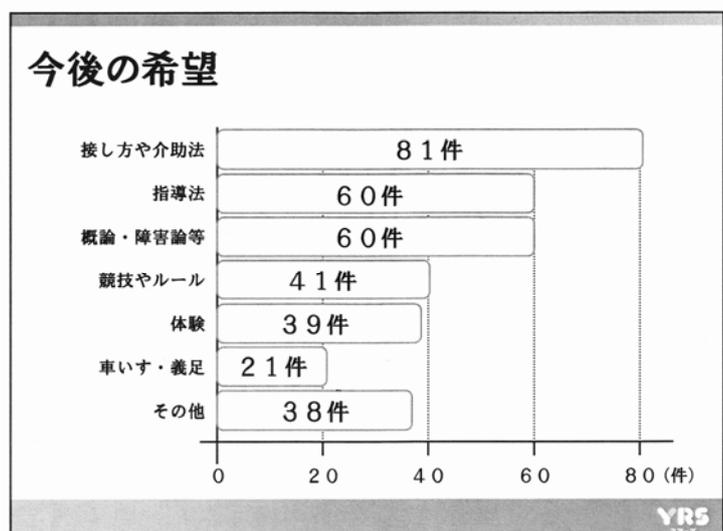
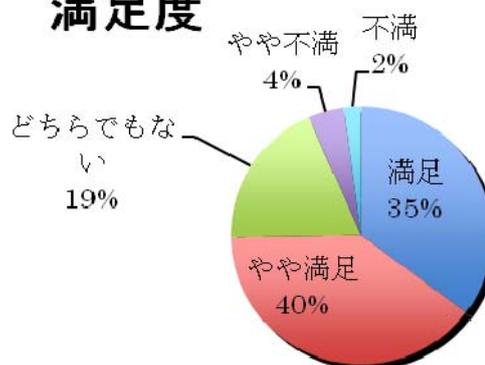
「基本特性」「参加動機」

「現在の活動」「今後の希望」

現在の活動における役割と満足度



満足度



*「元宮ボートフェスタ2014」 **ボランティア募集**

日時：平成26年9月28日(日) 9時から(乗艇開始は、10時から)

場所：横浜市鶴見川漕艇場

* 第38回種目別研修会 **参加者募集**

日時：平成26年11月30日(日) 9時30分から15時45分

場所：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

テーマ：「卓球」の紹介

今回は、皆さんに募集要項を送付致します。

皆さんの参加をお待ちしています。

* 第16回横浜市障害者スポーツ指導者協議会総会

5月24日(土)に開催され、皆さんの承認を頂き終了致しました。

今後とも宜しくお願い致します。

* 新役員の紹介

先に行われました総会で、新役員が選任されました。

『今年度から、役員として「研修」を担当することになりました

小島 千尋(こじま ちひろ)と申します。

今、トレーニングマシーンを使わず、寝る、起きる、立つ、歩く、走る、跳ぶ、

持ち上げる、引っ張る、押すなど日常生活に必要な動きを取り入れた

「近代5種エクササイズ」にはまっています。

好きな言葉は「一期一会」。皆様との新たな出会いを楽しみに活動したいと思っております。

宜しくお願い致します。』



* ご好評を頂いております新素材の「BASEL ポロシャツ・Tシャツ」の斡旋(有料)は、来年行います。



T-shirt



Polo shirt

会員数 468名(5月末現在)